

「志」テーマに、海外進出計画



ジェイリース 代表取締役社長
中島 土氏

- 質問
- ①子どものころの夢
 - ②新年を機に始めたいこと
 - ③生まれ変わったら何になりたい？

- ①昆虫博士
- ②週1回の英会話レッスン
- ③海(命の源だから)

住宅用、事業用などの家賃保証や入院時の医療費保証、ひとり親家庭を支える養育費保証などの保証関連業、不動産業、IT業を展開し、拠点は全国40カ所に広がっている。

2024年は会社の年間テーマを「成長」と定めた。「社員一人一人が人生の理念を明確にし、会社を自己実現の舞台とする」という意味も込めた。共に成長できた一年だったという。

社員が自由に参加する勉強会を毎週朝に実施。180人以上の社員が参加している。マネジメントの事例などを学びながら、役員から新入社員まで率直に意見を出し合う。「学びを実践し、挑戦の結果をシェアし、次の成功に共につなげる」という好循環が生

まれている。承認・賞賛の文化が広がってきた。これらの取り組みがチーム力の向上につながり、23年度の決算は自社の目標、過去最高の売り上げと利益を達成した。

24年4月には大分市のソフトウェア企業「エイビス」をグループに招き、システム分野を補強。「IT分野を強化しなければ生き残れない。電子契約をはじめ、不動産会社やオーナー、入居者の方にもより利便性の高いサービスを提供できるよう、業界の変革に貢献したい」

社会課題解決にも注力している。住宅セーフティーネット法に基づく「住宅確保要配慮者居住支援法人」の指定企業として、全国各地の自治体と連

携。「地域を長年支えておられるNPOなどと連携し、所得や年齢などの事情から住居の確保が困難な方の力になりたい」。サッカーを通じた社会貢献活動を続けており、傘下のサッカーチームのジェイリースFCはJFL昇格を目指している。

今年「志」をテーマに据えた。「成長はあくまでも手段。その先の志を実現することこそが目的。社員とともに志を立て挑戦したい」と話す。海外進出を計画しており、東アジア地域を対象に保証事業の展開を準備中。

東京本社には別府湾の絵を飾る。「年々、郷土愛が強くなる。さらに地元発展に尽力したい」



過去最高の全国大会3位入賞を収めたジェイリースFC

